

ちとせの介護医療連携の会

介護、医療の現場から シニアライフサポート



ちとせの介護医療連携の会 介護グランプリ実行委員
(株)やさしい介護 統括本部長 今成 光

皆さまは介護福祉・医療サービスや制度の知識などについてどれくらいご存じですか？

テレビや新聞、などで認知症をはじめ様々な病気のこと、介護保険や地域包括ケアシステムなどの専門的な言葉を目にすることは多いと思います。その一方で実際に家族や自分が病気や加齢などで体調をくずし、日常生活や家事を行うことが困難なるまで介護保険制度や医療サービスにふれる機会は少なく、地域にどんな事業所があり、そこで働く方々についてご存じの方は少ないのではないのでしょうか。

ちとせの介護医療連携の会では、皆さまに地域の介護に携わる方や介護のしごとのことをより知っていただき、身近に感じてもらうため、2016年から介護の技術や知識を競う「ちとせ介護グランプリ」を地域の介護現場で活躍する方々と共に開催し、介護のしごとの魅力と知って得する介護の知識を皆様楽しく知っていただく取り組みを行っています。

今年の第7回ちとせ介護グランプリは、12月7日(土) 12:30 から北ガス文化

第84回 第7回ちとせ介護グランプリ開催について

ホール中ホールで開催。グランプリでは昨年も好評だった介護クイズ王決定戦をメインに、参加事業所による事業所自慢のプレゼンテーションも予定しています。また、参加者はもちろん来場者の皆さまにより楽しんでいただけるよう、開会式では千歳北陽高等学校吹奏楽局からのオープニング演奏など様々な仕掛けをご用意しております。

当日のご観覧は事前申込や入場料は不要ですのでお気軽にご来場ください。

ご来場者特典として令和6年度版最新『ちとせの居宅介護支援事業所ガイドブック』&『特製ボールペンをプレゼント!』

明日から使える介護福祉や医療の知識、地域の介護サービス事業所についてクイズやプレゼンなど介護のエンターテインメントイベントを一緒に楽しみませんか？

皆さまのご来場を心よりおまちしております!



HP、facebook、Youtubeで情報発信中

カトレーナ蘭子の 勝手に夢診断

夢のお告げ 黒スーツの男

(千歳市/ピンクのうさぎさん)

今はもう閉店しているが、まだ活気があった頃のとあるスーパーの階段を降りている。

1階の食品入り場に到着。ふと後ろを振り返ると

黒いスーツにサングラスをかけた男3人がこちらに向かって走ってきた。

訳がわからないが怖いのでとりあえず走った。

かなりしつこく追いかけてくるが、

昔からよく行っていたお店だったので

店内の道は把握している。

そのおかげで男たちから逃げ切ることができた。



まとめ

日頃の生活に変化を求める気持ちもある中で、周りの環境や対人関係に不安も持っている。でも、思い込みや先入観をなくすことで、違った世界が待っているのかも～？

本日のキーワード

【スーパー】
平凡な生活への不満、変化を求める気持ち

【階段】
階段を降りるのはストレスの緩和や体力の回復

【黒】
黒い人物は対人的な恐れ

【スーツ】
立場や状況の逆転

【サングラス】
周囲ばかり見て、自分を見ていない。眼鏡をかけた見知らぬ人→あなたに冷静な判断を促し思い込みを排除しなさいという忠告

【恐怖感】
思い込みや先入観を強制しようとしている。日常の緊張感を恐怖という感覚で示していることも。

【逃げる】
逃げ切ったなら仕事や勉強がはかどる

思わずクッス思わずドキッ

番外編

みんなの夢

流しそうめん

(千歳市/ソーメンイーターさん)

豪雨の中、友人に「雨水の力を利用して流しそうめんをしよう」と提案され快諾する。

竹を買い、レインコートを着てひらけた草原へ向かう私と友人。「雨水は塩辛いので麺つゆいらすだ」などとウキウキで話していると、草原の真ん中にはレインコートを着た宇宙人が集って何かを話していた。

私は「日を改めた方がいいかもしれない」と提案するが、友人は「あの人たちも一緒ならもっと楽しい」と雨もやのなかへ駆け出していく。遅れをとった私は「君のそういう前向きなところが大好きだ」ともやに向かって叫ぶが、そのまま姿は消え、目が覚めた。その友人は現実世界にはいない。

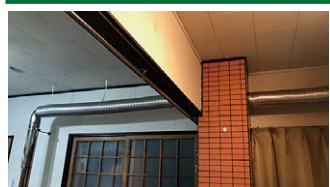
蘭子

「雨水で流しそうめん! 麺つゆいらす! 宇宙人もレインコートを着るのですね(笑)」



生活が楽しくなる DIY+

ディーアイワイ プラス



▲陽当たりの良い南側の欄間窓を外し、メガネ石を組み込む思い切った造作です。

震災時の応急処置で、集合煙突を突き抜いた延長造作には弊害がありました。(写真右)

■薪ストーブの『煙突ルート新設』と『既存煙突の補修』

★薪ストーブ本体の設置は比較的簡単なのですが、二次作業の『煙突取り付け』が重要となります。今回は2台目鋳物薪ストーブの『煙突ルート新設』と延長による弊害があった『既存煙突の補修』が作業目的となります。1年間の構想の末、やっと解決策を見いだしました。

【今回使った材料】ステンレス煙突(106mm径、120mm径)各種必要数、波トタン、150mm径伸縮アルミダクト管2本、石膏ボード、6尺胴縁製材(18×45mm)2本、耐熱塗料、各種金具、他…+資源の大切さを学ぶ心

【作業ポイント】

①煙突106mm径に120mm径を被せて直管部分だけ『二重煙突』を作ります。
※120mmの煙突の上下三箇所ずつ穴を開けM5~6(15mm)ネジで106mmを固定します。

★『二重煙突』にする事で暖まった煙突内部の空気(煙)を『ドラフト効果(上昇気流)』で効率よく排出できます。また放熱量も軽減できます。

②既存の煙突に150mmアルミダクト管を被せて保温状態を向上させます。
※外気温が低い時に煙突内部に発生する結露も防ぐ効果もあります。



▲例年厳冬期になると結露が発生して水が滴ってきていました。

【だるまストーブ】明治から昭和中後期にかけて、冬が厳しい北海道でも一世を風靡した鋳物製のストーブです。もちろん燃料は石炭で、当時の木造校舎には欠かせない貴重な存在でした。新聞紙で包んだアルミイト弁当や手編みの手袋がストーブ周りに並べられた情景…『こんなに雪ふっついて、しゃっこい手して、しもやけになるべさ〜手袋はきなさい。』と母さんの温かい声が聞こえてきました。



■DIYコラム/川筋善夫 【好きなこと】生活が楽しくなるDIY研究、聖書研究、生活デザイン、和食料理、薪ストーブの新割り、野鳥観察、保護猫の世話 など
【注意とお願い】DIY研究は、販売目的で行っておりません。カスタマイズ等はあくまでアマチュアの領域内での造作です。

※このコラムに関心のある方は▶

